



広報 **えびな**

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

〒243-0492

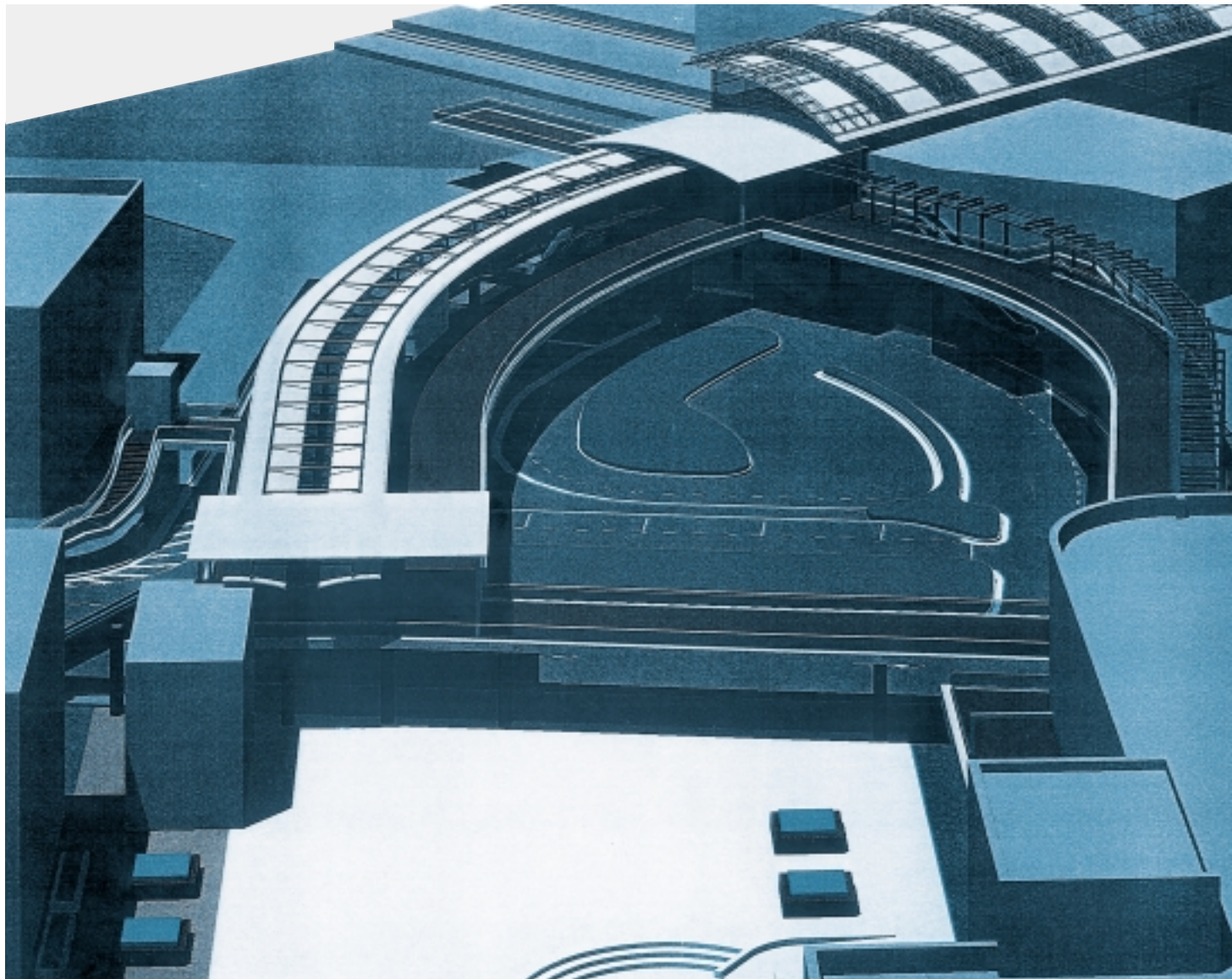
神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。

海老名中央公園から見た海老名駅自由通路イメージ



海老名駅

顔 づくり 着工 へ

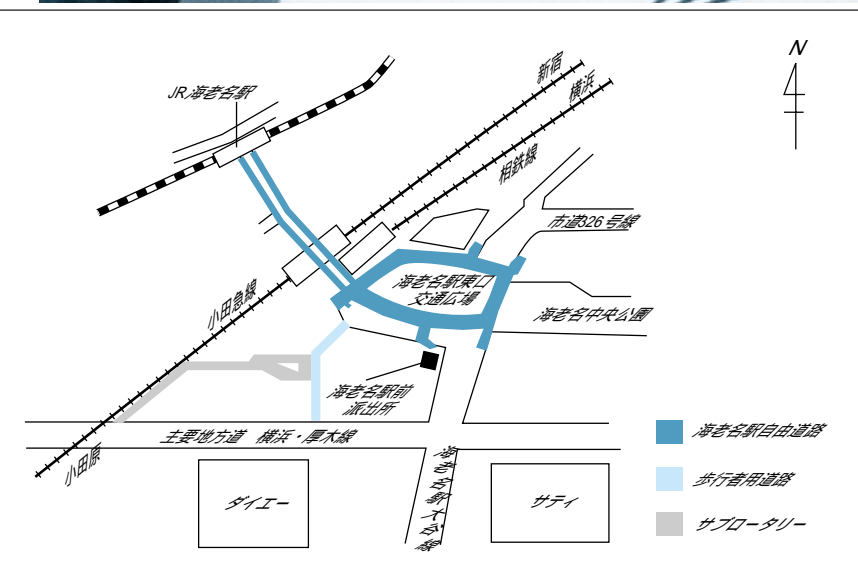
自由通路

東西 400メートル

一般車乗降場も新設

海老名駅自由通路整備事業がいよいよスタートします。これは、海老名駅の東西を結び、だれもが快適に利用できる歩行者専用の通路を整備するものです。

海老名駅自由通路は、JR海老名駅・小田急・相鉄海老名駅・海老名中央公園までの延長およそ400メートルを1本の通路(立体横断施設)で結ぶ計画です。このうち第1段階として、平成16年3月の完成を目標に、東口交通広場(ロータリー)部分の自由通路(立体横断施設)工事に着手します。併せて、同広場地上部分について、一般車乗降場を新設するなど、全面的な改良工事を行います。



自由通路(東口交通広場部分)の特長

- ◆最も狭い部分でも幅6メートル、ゆとりと通れるスペースを確保(最大幅16メートル)
- ◆各方面には、階段のほかにエスカレーター、エレベーターを設置
- ◆雨天や夏場の日差しの強い日でも快適に利用できるように、明るく大きな屋根を設置
- ◆市の玄関口としてふさわしいデザインにするとともに、安らぎと憩いの場としても利用できるように、バリアフリーに配慮

立体構造で

安全・快適に

駅舎改良は

設計進行中

現在の交通広場と、それに接する海老名駅大谷線は、バス、タクシー、一般車による混雑が激しく、大変危険な状態です。このため、歩行者の安全対策と車両の円滑な通行を図ることが大きな課題となっています。そこで、交通広場の上空に歩行者専用の自由通路を設置し、限られたスペースを立体的に使うことで、安全で快適な交通広場とします。

中心市街地形成

多くの人を誘導

この施設は同時に、海老名駅周辺地区にたくさんの人を誘導するという目的も持っています。駅周辺に中心市街地を形成する

サブロータリー 5月10日利用開始

去年3月に閉鎖された暫定ロータリーについては、新たに一般車のサブロータリーとして、5月10日(木)午前10時からの利用開始を目標に手続きを進めています。また併せて、隣接する南北の歩行者用道路も整備して、同日の利用開始を目指しています。(いずれも上地図参照)これらの道路は、小田急電鉄(株)の開発行為に伴い、市に提供されるものです。

▽問い合わせ 駅周辺整備室(内692)

●工事の詳しい内容などについては、広報えびな6月1日号でお知らせします。期間中ご迷惑をおかけしますが、みなさんのご理解、ご協力をお願いします。

にあたって「海老名の顔」となる施設です。